

2020 年度前期第 2 回北海道大学大学祭全学実行委員会 議事要旨

文責：副実行委員長 山根 斗和

小林（実行委員長）：

第 2 回実委を始めたいと思います。よろしくお願いします。

今日のはじめに、この前お話したレンタル用品のキャンセル料について議論する。北大祭が 1 カ月前、もしくはもっと直前に何らかの理由でキャンセルになったときに業者へのお金を一部参加団体に負担させたいので、その案の説明と議論、できれば採決も取りたい。

次に、北大祭が 6 月に断念したということで秋に向けて動くということだが、予算の面でも色々変更があるので、会計に説明してもらい、質疑応答をして補正予算の承認を得たいと思う。

最後に、コロナの実行委員会の今後の動きの再確認や実行委員長からの報告、各祭実行委員会間でフリートークできたらと思う。

小林（実行委員長）：

はじめに、レンタル料の件について、今日は北大祭事務局から業者と参加団体の中で仲介をしてくれる担当の方が来ているので、最初に担当者に説明してもらいたい。

鍛冶（北大祭事務局レントオール担当）：

こんばんは。北大祭事務局レントオール担当の鍛冶と申します。私の方からは、今小林君の方からあったとおり、祭の直前になって祭が開催できなくなった場合のレンタル料金のキャンセル料の具体的な金額について説明します。北大祭を開催するにあたって多くの団体が発注しており、レンタルが大規模に動いているため、業者さんに前々から動いていただいている。商品確保の都合上、受注会が始まってから商品発送の 16 日以上前までにキャンセルの場合は一律で 35 万、15 日から 8 日前で全受注額、団体の目線からだ全発注額のうち 20%のキャンセル料を業者に支払わなければならない。さらに直前の発送する 1 週間前だと、発注額の全額を業者に支払わなければならない。以上です。

小林（実行委員長）：ありがとうございます。今説明があった通り、少なくない額を実行委員会で負担しなければならないが、僕と会計と担当者と話した結果、35 万すべてを実行委員会が企業から集めたお金や事務から貰うお金で負担するのはかなり厳しい。

そこで、参加団体に一律で 1500 円負担してもらおうということが案として出た。具体的な方法としては、受注会で団体がお金を支払う際に、北大祭事務局の担当の方でお金を回収して、北大祭が無事に開催できた場合は、キャンセル料は必要ないのでそこで回収したお金は

返金できるが、直前でのキャンセルでキャンセル料が発生してしまった場合は、実行委員会でも一部徴収額をキャンセル料に回さなければ実行委員会としてお金のやりくりが厳しい。参加団体のことなので参加団体を統括している各祭実行委員会の皆さんに意見を聞きたいと思った。各祭の方で何か意見や質問のある方はいるか。

質問等はないようなので採決に移りたいと思う。

キャンセル料を参加団体から一律で 1500 円集めることに関しての議決をとりたい。

参加団体の負担について、棄権の方は挙手をお願いします。

不承認とされる方は手をあげてください

承認とされる方は手をあげてください。

各祭実行委員会の過半数の承認が得られたのでこれは可決とします。詳細の説明は北大祭や受注会の日程が決まった後に説明があるのでそれを待ってください。

レンタルのキャンセル料については以上です。

小林（実行委員長）：補正予算の承認について。6 月開催自粛について秋に向けて動くということで北大祭事務局内での担当の変更や、一部予算のやりくりがあったので、会計の方から説明がある。会計の金子さん説明をお願いします。

金子（会計）：会計の金子です。予算の額が少ないということで、かつ秋開催になって色々が変わるといことで事務局と折衝して事務局周りの支出を 15 万円ほど減らした。規模縮小による客足の減少により企画売り上げを客足が減るだろうといことで減らした。大きいこととしては、今手元にある分の残高で払える額まで予算が減ったので実行委員会が破産することはなくなりました。

小林（実行委員長）：

ありがとうございました。これに関して会計に対する質問等がありますか。

それでは採決に移る。

会計と話したが、日程はまだ決まっていないので予算についてはまだ変わる余地はある。大きな変更があったら再度実委で報告してもらおうことにしている。

それでは 2020 年の補正予算案の承認について

棄権とする方は手を挙げてください。

不承認とする方は手を挙げてください。

承認とする方は手をあげてください。

ありがとうございます。

各祭実行委員会の過半数の承認が得られたので、現段階での 2020 年の予算補正案はこれで承認とする。

小林（実行委員長）：

次にコロナについて。僕から報告することがあるので、報告の後にフリートーク。その後、全体での意見交換をしたい。

今事務に対して要望を出し、回答を催促している状況。秋開催の日程として有力なのが 16 日・17 日・18 日で、16 日が一部でも取れるかどうかはまだわからない。

実行委員会の最終的な可否決定は 7 月下旬から 8 月にしたい。この可否決定が早すぎる、遅すぎるといったことに関しても今日言ってもらえればと思う。

積雪が北大にはあるということで、秋開催が中止になった場合には今年度、つまり来年の 4 月までの北大祭をあきらめる、ということを考えている。10 月・11 月ですら、深夜どういう対策をしようかと考えているところで、それ以降の開催は非現実的と考えている。

また、会計とも話したが、縮小開催となると企画収入は減り、コロナの不景気で企業からの協賛金が減っていることも関係して、繰越金が 30 万円ほど減ってしまうのではないかと言われている。繰越金の金額によってどういう企画や広報ができるのかということになってくる。これが減ってしまうと未来の北大祭の可能性が減ってしまうということになる。

また、北大祭事務局の事務局長や各部署の代表と話したが、一部の各祭実行委員会と同様に人材難に陥っている。北大祭を秋にやるときに本当になにもできませんということはないが、一部業務や企画の縮小については報告が上がっており、また、広報面でもパンフレット以外の広報の断念・縮小せざるを得ない状況にある。これは業務縮小が決定した時点で報告してもらおうと考えている。

また、当日の人がいないということで北大内外からの募集。今北大祭実行委員会は北海道内

の大学祭実行委員会と多少の交流があるが、そこで当日ボランティアの募集をできたらな
と考えている。これも未確定。何十人も集まって、各祭実行委員会にも人を派遣できるので
あればそれが理想だが、それが実際どのくらい来るのか、無償となるので、どれくらい助け
てもらえるかわからないので未確定だが、一応現段階で報告する。

最後に、北大祭を楽しみにしている人のためにできることを考えたいということだが、6月
自粛で10月に向けて動いていて、実行委員会の代表のメールアドレスにも北大内や地域の
方々、企業の方々からもメッセージをもらっているのも、何もできないのはつらい。一部北
大祭事務局内や実行委員会内でオンライン開催も視野に、という案も上がっている。オンラ
インでは開催は事務局や各祭の一部の企画を行ったりすることを考えている。やはり、文化
系サークルの発表の場が全くないというのは悲しい。オンライン開催は、コロナ関連で色々
調べているが、東京では色々な大学が実施を考えられているらしい。しかし、北大祭は模擬
店がたくさんあることが特徴であるため、仮にオンライン開催をしたところで、それが北大
祭と呼べるものなのかわからない、という意見もある。選択肢の1つとしてはある。

コロナは議題として難しい。北大祭を楽しみたい我々と地域の方々やコロナの感染リスク、
対外的な体裁等も全てひっくるめての開催の是非を7月末や8月に議論したい。なので、
そこも含めて考えるということで今後の予定や北大祭そのものに対しても意見交換ができ
たらなと思う。長くなったが、画面共有を辞めるのでブレイクアウトルームで4グループ
に分けたいと思う。議論する内容としては色々言ってしまったが、今後の予定と北大祭の開
催是非についてであとは各祭実行委員会内での問題を話し合ってもらいたいと思う。

(ブレイクアウトルームを使用してフリートーク)

小林：全体に共有したい意見や僕に対する意見とかはあるか。

それでは、開催可否は7月末～8月の決定とする。

また、10月開催を中止とした場合は今年度の北大祭の開催を諦めることとする。

今日は以上とします。

各祭としての意見や、実行委員会内で話し合いたい議題などあれば教えてください。